

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（区南部）

品川区・大田区

1 選定病院

公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院（品川区）

所在地：東京都大田区東雪谷4-5-10

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・検討中（1回/年） (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・検討中（1回/年）					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・品川区、大田区のケアマネジャーと療法士から、それぞれに対する意見を聴取し、交流会を開催（2回/年） (2) ケアマネジャーへの研修 ・上記交流会開催時に研修会も行う。（2回/年） (3) ケアプラン相談支援 ・協力施設を含めて医療機関や各医師会の訪問看護ステーションなど 随時					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・地域協議会（1回/年）					
選択する役割		(1) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・区南部圏域の脳卒中医療連携推進事業を実施。区南部圏域脳卒中医療連携推進幹事会に担当医師が参加している。 (2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・区南部圏域の高次脳機能障害のリハビリテーション事業を実施。大田区高次脳機能障害者連絡会や目黒区高次脳機能障害者支援連絡会に担当医師などが参加している。					
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等（選択する役割）	これまでの取組状況（実績等）	小項目合計	総合評価
点数	3.67	3.50	3.67	3.83	3.67	18.33	3.83

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 2か所	無 0か所	有 3か所	無 2か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○品川区 ・地域リハビリテーション支援センター、区が開催する研修会等の周知および参加協力 ○大田区 ・「区南部地域リハビリテーション支援事業」の講演会や症例検討会には、専門職も含めて参加させていただき、知識・技術の向上や情報交換の場とさせていただいております。 ・区の「区市町村高次脳機能障害支援促進事業」における支援者連絡会（区内のリハ科のある12病院と関係機関が参加）や啓発講演会にも荏原病院からの協力をいただき実施できています。 ・区内にある障害福祉サービスである自立訓練（機能訓練）事業所では、利用者に荏原病院の情報提供をしたり、セカンドオピニオンの相談をさせていただいたり、圏域の拠点病院としての機能を活用させていただいております。 ・令和2年度および令和3年度には、リハビリテーション関係施設に向けて、コロナ禍での運営状況等に関する調査を行っていただき、その結果は施設運営の参考とさせていただいております。		【連携内容】 ○品川区医師会 ・研修会、講習会の参画 ○大森医師会 ・協議会・支援センター主催の講演会等への出席 ○蒲田医師会 ・支援センター主催の講演会への出席 ・定期的に開催される区南部地域リハビリテーション支援センター地域協議会への出席	
指定に対する意見	○品川区 ・区と地域リハビリテーション支援センターにおいて医療職、介護福祉職等の連携が一層充実していきますよう、引き続きご支援ください。 ○大田区 ・荏原病院には、区のリハビリテーション（特に高次脳機能障がい支援）の中核的な役割を引き続き担っていただきたいと考えています。さらに専門的知識や抱える課題への助言等、今後もご支援をいただきたいので、再指定していただくことを要望します。		○品川区医師会 ・開業医・診療に役立つ簡単なリハビリ集の作成 ・出張リハビリの企画、域内関連施設の増加促進	
事業計画に対する意見	○品川区 ・新型コロナウイルス感染症の中でも、地域リハビリテーション事業は重症化予防やフレイル予防に欠かせないものとなります。様々な対策のもと事業が実施できますよう協力していきたいと考えています。 ○大田区 ・コロナ禍における地域リハビリテーションは区としても大きな課題であると捉えています。事業目標にありますように、連携強化やタイムリーな情報提供を今後も期待しております。		○品川区医師会 ・リハビリを地域開業医が身近に感じられる様な企画や連携を要望する。	